



# 南会津 のうりんニュース

## 今月の写真：「水車」（館岩村前沢）

山から流れてくる春の水を受け、水しぶきをあげて回る水車。

曲家で有名な前沢集落の入り口にあります。すぐ側には鹿おどしの親玉のような、珍しい「バッタリ」もあります。

（撮影：岸）

## 今月の内容：

- ・今月のトピックス  
（未来へと ひきつぐ森です 火の用心）  
（街頭募金で「緑の募金」PR）ほか
- ・特集！  
（グリーン・ツーリズムを勧める「言葉」）
- ・ひとくち普及情報  
（“木のぬくもり”がとても好評です！）
- ・今月のコラム  
（「春一番」それはアスパラガス）
- ・研修会・講習会等お知らせ

平成16年5月10日発行 福島県南会津農林事務所

## 今月のトピックス

### 未来へとひきつぐ森です 火の用心



南会津地区山火事防止対策協議会主催による山火事予防パレードが4月10日に東部地区で、17日に西部地区で実施されました。

パレードは町村会、広域消防本部、会津森林管理署及び南会津支署、各町村、森林組合、NTT、東北電力、電源開発及び南会津農林事務所の職員等が花の種や風船を配りながら山火事予防を呼びかけました。

山火事の原因には、たばこの火の不始末、火入れ、たき火からの延焼などがあげられます。

もう一度予防対策を振り返り、山火事を起こさないよう地域ぐるみで注意しましょう。

（森林林業部）

### 街頭募金で 「緑の募金」PR



4月23日と27日に田島町立田島第二小学校緑の少年団と田島高校環境科学コースの生徒による「緑の募金」の街頭募金が行われました。

田島高校生による街頭募金は昨年に引き続き2回目、田島第二小学校緑の少年団は今年初めて取り組みました。

23日は午前中に田島第二小学校緑の少年団18名、午後に田島高校3学年の生徒6名、27日には田島高校2学年の生徒17名が、それぞれ田島郵便局前、ヨークベニマル田島店前、リオンドール田島店前の3箇所に分かれ、「緑の募金にご協力お願いします！」と爽やかな声を響かせていました。街を行く方々の温かいご協力のおかげで、4万円を越える募金が集りました。

この募金は、花苗や苗木の植栽等、地域の緑化活動に使われます。

（森林林業部）

## 南会津地方水田農業改革

### 推進本部会議を開催!!

米政策改革の実施を契機として、米の生産・流通体制の強化や消費拡大対策、地域農業の再構築等、一層の改革が求められておりますが、南会津地方の実情に即した水田農業の改革に関係機関・団体が一体となって取り組むための「南会津地方水田農業改革推進本部会議」を、平成16年4月19日に田島建設会館で開催しました。

会議では、本年度からスタートする水田農業構造改革対策の概要、町村毎に策定する地域水田農業ビジョンや産地づくり計画、集荷団体等が策定する生産調整方針、さらには水田農業改革アクションプログラムの進行管理等について協議を行いました。

特に、地域水田農業ビジョンでは、

- ①担い手の定義と育成方法
  - ②地域振興作物による産地づくり
  - ③水田の利活用に関する基本的な方向
- などについて意見交換がなされ、売れる米づくりの



推進と園芸作物による産地拡大により、水田農業構造の改革を実現することを確認しました。

本会議を契機に、南会津地方のより一層の水田農業改革の推進が期待されます。

(農業振興部)

## 平成16年度南会津地方

### 防霜対策会議

農作物の被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることを目的として、平成16年4月14日に同会を開催し、同日から6月10日までを設置期間として南会津地方防霜対策本部を設置しました。

同会には地方対策本部長の南会津農林事務所長をはじめ農林事務所各部、各町村、JA会津みなみ、会津農業共済組合、福島県たばこ耕作組合の各担当に出席頂き、平成16年度南会津地方防霜対策本部の設置および各品目の生育状況と技術対策について協議を行いました。

なお、4月30日仙台管区気象台発表の東北地方の1か月予報では、「天気は数日の周期で変化するでしょう。東北地方は平年と同様に晴れる日が多い見込みです。おそ霜のおりる恐れがあります。」とのことですので、農作物の管理には充分注意し、無理のない肥培管理に努めてください。

(農業普及部)



## 移動農林事務所を

### 開設しました

管内各町村を訪ねる「移動農林事務所」を本年度も開催し、4月9日の檜枝岐村を皮切りに7町村で実施しました。

移動農林事務所は、平成13年度よりスタートした「豊かな自然を生かした園芸産地とやすらぎの里づくり」をスローガンに掲げた「うつくしま農業・農村振興プラン21 南会津地方計画」を達成するため、各町村と南会津農林事務所との間で農林行政の課題や農林業の振興方策等について町村ごとに幅広く自由な意見交換を行うことを目的に開設したものです。

この移動農林事務所は本年度で4回目となり、平成16年度の重点事業内容や新規制度の説明をはじめ、各町村が直面している緊急的な課題などについての要望、意見等が出され、さらに、県として対応可能な事業を紹介するなど有意義な意見交換がなされました。

これを契機に、より密接に町村と連携した事業展開を図ることで、南会津地方の一層の農林業の振興を図りたいと考えています。

(地域農林企画室)



## グリーン・ツーリズムを 勧める「言葉」



「都会の住民と田舎の住民はどちらが豊かでしょうか。それは明らかに田舎に暮らす皆さんの生活の方が豊かに決まっています。食料を作る田畑があり、豊かな自然があり、人との間に人情があります。

都市とは全く次元が違う豊かさといってもいいでしょう。都市住民がうらやましがらうような、美しく豊かな日々の生活を送ってください。」

これは去る3月9日、下郷ふれあいセンターで開催した「南会津地方グリーン・ツーリズム推進大会」で講師としてお招きした、都路村で農家レストランを営むほか「福島県地域興しマイスター」としても県内外で活躍しておられる呑田理美子さんのお話です。

このように現在、グリーン・ツーリズムを推進するための講演会やシンポジウムが、いろいろな時、いろいろな所で行われており、グリーン・ツーリズムに関心のある方が大勢訪れて熱心に話を聞いています。

グリーン・ツーリズムに取り組むとはどういうことなのでしょうか。ある講演会で、東洋大学教授でグリーン・ツーリズムに大変詳しい青木教授はこのようなことをおっしゃいました。

「グリーン・ツーリズムを農家の多角的経営の一環としつつ、農村の地域づくりを都市住民と共同で行うための効果的な方法の一つとして考えてほしい。ただし、金儲けを目的にグリーン・ツーリズムをやるならまず失敗するだろう。グリーン・ツーリズムは「金儲け」ではなく「人儲け」だと言った人がいたがそのとおりで、グリーン・ツーリズムで一番得るものが大きいのは、人とのつながりである。そこを間違えてはいけない。」

服などを買う時、自分に似合うかどうか他の人からアドバイスをもらうように、自分の良さは自分では分からないこともあるものです。先の呑田さんも言われたように、南会津地方は都会とは違う豊かさを持っています。こういった、よその人から見た目の意見も参考にしながら、もっと地域の良さに自信を持ってグリーン・ツーリズムに取り組んでみませんか？



「今東京のカッパ橋では食品サンプル、食堂にある口ウでできたあれだが、あれが外国人に売れているというのだから驚かされる。何でも、部屋のインテリアにいいと言っているのだそうで、不思議なものである。一度外国人の写真家などに地域を見てもらうと意外な発見があるかもしれない。」

これは東京大学名誉教授、木村尚三郎先生のお話でした。  
(地域農林企画室)



伊南村では、林野庁の補助事業により、様々な伝統文化活動やスポーツ活動等での利用を目的に、中学校の体育館としての機能も兼ね備えた「伊南村地

域交流センター」を建設し、平成16年3月に完成しました。

この施設は、地元の豊かな森林資源を活用したもので、梁や柱にはカラマツを原料とした大断面の集成材が使われています。

木のぬくもりを感じさせるこの施設は、中学校の体育の授業は勿論、週末や夜間には各種団体によるレクリエーション活動等で一般の方々にも利用され、利用者からは、心にゆとりが生まれ、和やかになると大変好評です。

村では、この施設をできるだけ多くの方々にご利用していただきたいと願っています。  
(森林林業部)

農林事務所からお知らせ

## 春の農作業安全運動 実施中！

4月20日から5月31日までは、春の農作業安全運動期間です。

トラクタでの事故が多発しています。横転、転落、車の追突にご注意を！  
(農業普及部)

# 「春一番」 それはアスパラガス



郡山生まれの小生が、縁あって田島町に住んで、今年で35年目を迎える。

南会津に住んで、一番感じることは四季の素晴らしさである。郡山でも、学生時代を過ごした宇都宮でも、四季を感じたがここ南会津の比ではない。

春、陽光にきらめく雪解け水の輝き、エアコンも必要としない夏の夜の涼しさ、全山錦織なす秋の紅葉、沈黙と白一面の冬景色、どれも素晴らしい一言につきる。

そのなかでも、私が、一番好きなのが春の季節である。

それは、一番うまい物が食べられる季節であるからである。南会津には

うまいものが多いが、そのなかでも一番うまいと思うのが、春のアスパラガスである。

春のアスパラガスは、甘みがあって軟らかい。ゆで物、天ぷら、バター炒め、浅漬け等どれをとっても絶品である。なかでも私は、ゆでたアスパラガスが一番好きである。

口中に広がるほのかな甘さ、固からず軟らかずの絶妙な食感、まさに至福の時である。

南会津に住んで、これほど良かったと感じる時はない。

田島町にグリーンアスパラガスが、入って30有余年。今では、田島町の春を代表する野菜である。導入当初、担当普及員として、料理の本をもって栽培推進の座談会をやったことが夢のようである。

アスパラガスは、春の採りたてのものが一番うまい。採りたてのアスパラガスを食べることができることは、農家でしか味わうことができない最高の贅沢であり、栽培者の特権でもある。

現在、田島のアスパラガスは最盛期の半分である。原因はいろいろあるだろうが、平成18年からは、県農業試験場が育成した新品種「ハルキタル」と「春まちグリーン」の種子が供給される。甘みが強い紫アスパラガスの栽培も始まった。

家庭菜園にも最適なアスパラガスの栽培をもっともっと広め、田島町から南会津全体の春を代表する野菜にしたいものである。

(農業普及部長 星佐多男)

## ～研修会・講習会等お知らせ～



内 容	月 日	場 所
-----	-----	-----

- |                          |                 |              |
|--------------------------|-----------------|--------------|
| ①農産物の高品質・高付加価値化を目指した土づくり | 6月2日(水)         | 農業短期大学校(矢吹町) |
| ②トラクタ運転免許取得              | 6月7日(月)～10日(木)  | 農業短期大学校(矢吹町) |
| ③トラクタけん引免許取得             | 6月14日(月)～17日(木) | 農業短期大学校(矢吹町) |
| ④農家レストラン開設のための法的注意事項     | 6月24日(木)        | 農業短期大学校(矢吹町) |
| ⑤小型農業機械の安全操作             | 6月29日(火)        | 農業短期大学校(矢吹町) |

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 0241-62-5866 / 農業普及部 0241-62-5262



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

R100

PRINTED WITH SOY INK™

この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。